

# 三島市

## 下水道事業経営戦略

令和2年度～令和11年度(2020年度～2029年度)





## はじめに



三島市の下水道事業は、昭和51年11月の供用開始以来、公共用水域の水質保全と生活環境の向上を目的として、鋭意整備を進め、下水道の普及に努め、県内市町の中でトップクラスの普及率となりました。

これまでは、下水道の普及に伴い、使用料収入は増加してまいりましたが、今後は、少子高齢社会の進行や人口減少等により、使用水量が減少し、下水道事業経営に影響を及ぼすことが想定されます。

また、施設や設備の老朽化に伴い、更新需要が増大するなど、下水道事業を取り巻く環境は厳しさが増してまいります。

そこで、三島市では、平成30年4月より複式簿記による公営企業会計に移行し、経営や資産状況の「見える化」を推進しました。

さらに、下水道事業が将来にわたって安定的に事業を継続していくため、このたび令和2年度から令和11年度までの10年間を計画期間とする「三島市下水道事業経営戦略」を策定しました。

今後は、本「経営戦略」に基づき、投資費用の平準化を図りながら計画的な下水道整備及び維持管理に努め、施設の長寿命化を図り、汚水処理機能を安定的に維持してまいります。

引き続き、下水道事業経営の健全化を目指し、汚水処理の更なる効率化、財源の適正化及び職員の能力向上を図りながら、国連の持続可能な開発目標（SDGs）にもあります「すべての人々（市民）の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」よう努めてまいります。

結びに、本経営戦略策定にあたり、貴重なご意見を賜りました三島市水道事業及び公共下水道事業審議会委員の皆様及び監修いただきました早稲田大学 研究院 水循環システム研究所 佐藤裕弥准教授に心から感謝申し上げます。

令和2年3月

三島市長 豊岡 武士



「SDGs (エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な社会をつくるため、「17の目標」と「169のターゲット」で構成されます。2030年までに達成することが目標とされており、下水道事業においては、目標6「安全な水とトイレを世界中に」のほか、以下の3つが関連します。

本市の下水道事業では社会インフラのひとつである下水道の整備や施設・管路等の維持管理を通じ、持続可能なまちづくりを進めていきます。



# 目次

<b>第1章 経営戦略策定の趣旨</b>	
1-1	経営戦略策定の目的 .....1
1-2	計画期間 .....1
1-3	位置付け .....2
<b>第2章 現状把握・分析</b>	
2-1	経営状況 .....3
2-2	施設状況 .....12
<b>第3章 将来の事業環境</b>	
3-1	処理区域内人口の予測 .....14
3-2	有収水量の予測 .....15
3-3	使用料収入の見通し .....16
3-4	施設の見通し .....19
3-5	組織の見通し .....22
<b>第4章 経営の基本方針</b>	
4-1	将来の経営課題 .....23
4-2	経営の基本方針 .....24
<b>第5章 投資試算</b>	
5-1	投資試算の経営目標 .....28
5-2	投資試算 .....28
5-3	投資以外の経費 .....30
<b>第6章 財源試算</b>	
6-1	財源試算の経営目標 .....33
6-2	財源試算 .....33
6-3	財政収支の見通し .....34
<b>第7章 今後の取り組み</b>	
7-1	今後の投資についての取り組み .....38
7-2	今後の投資以外の経費についての取り組み .....39
7-3	今後の財源についての取り組み .....40
<b>第8章 経営戦略の事後検証・改定など</b>	
8-1	経営戦略の検証 .....41
8-2	情報発信 .....41
8-3	実効性のある PDCA サイクルの確立 .....41
<b>【巻末資料】</b>	
	投資・財政計画（収支計画） .....42